

宇多野ユースホステルの概要について

令和4年6月29日



【設置目的】

宇多野ユースホステルは、昭和34年7月に全国初の公営ユースホステルとして開所して以来、主として青少年の健全な旅行を誘致、奨励するため、低廉な料金での宿泊及び宿泊者、市民等との間の交流の用に供することを目的としている。

また、文化交流による世界平和の実現を目指す「世界文化自由都市宣言」の理念に沿った宿泊施設である。

【施設概要】

設置年月	昭和34年7月
改修年月	平成20年7月
規模	全41室 定員170名
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上2階建て
敷地面積	10,327.27㎡
延べ床面積	2,671.41㎡

○世界文化自由都市宣言

都市は、理想を必要とする。その理想が世界の現状の正しい認識と自己の伝統の深い省察の上に立ち、市民がその実現に努力するならば、その都市は世界史に大きな役割を果たすであろう。われわれは、ここにわが京都を世界文化自由都市と宣言する。

世界文化自由都市とは、全世界のひとびとが、人種、宗教、社会体制の相違を超えて、平和のうちに、ここに自由につどい、自由な文化交流を行う都市をいうのである。

京都は、古い文化遺産と美しい自然景観を保持してきた千年の都であるが、今日においては、ただ過去の栄光のみを誇り、孤立して生きるべきではない。広く世界と文化的に交わることによって、優れた文化を創造し続ける永久に新しい文化都市でなければならない。われわれは、京都を世界文化交流の中心にすえるべきである。

もとより、理想の宣言はやさしく、その実行はむずかしい。われわれ市民は、ここに高い理想に向かって進み出ることを静かに決意して、これを誓うものである。

昭和53年10月15日 京都市

その他の概要

○宿泊室 4 1 室の内訳

- ・洋室 2人部屋 (20.8㎡) × 4室
- ・ 3人部屋 (23.3㎡) × 8室
- ・ 4人部屋 (17.1㎡) × 18室
- ・ 6人部屋 (22.4㎡) × 7室
- ・和室 6人部屋 (34.6㎡) × 4室
- ・集会室, 談話コーナー, 食堂, 自炊室, 浴室, シャワールーム, コインランドリー, バーベキューコーナー, 駐車場, 事務室等

○利用料金

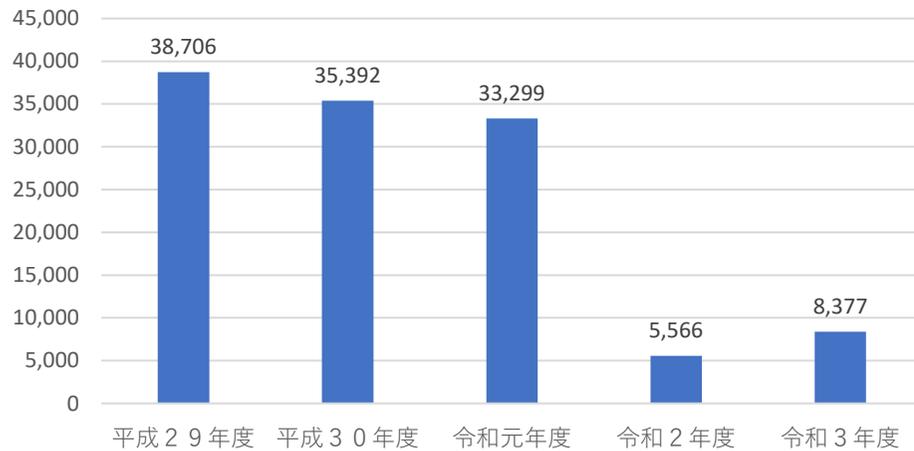
区分		単位	利用料金
宿泊施設	定員が2人の部屋	19歳未満の者	円 3,660
		19歳以上の者	4,190
	定員が3人, 4人 又は6人の部屋	19歳未満の者	2,930
		19歳以上の者	3,450
集会室		1の集会, 研修等ごとに利用人数1人につき	100
テニスコート		1面につき1時間	1,360

備考 定員に満たずに部屋を貸し切る場合の宿泊施設の利用料金の上限額は、この表により計算した額に、4,190円(定員が3人, 4人又は6人の部屋にあっては、3,450円)に定員に満たない者の数を乗じて得た額を加算して得た額とする。

○運営形態

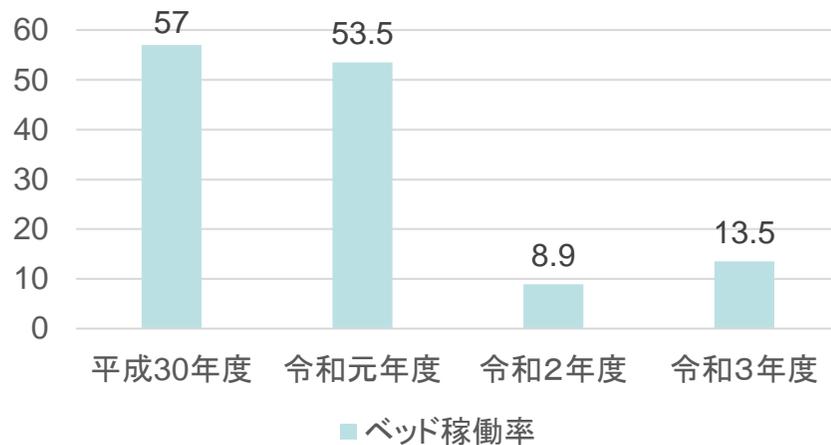
年度	内容	受託者
昭和34年7月～昭和42年度	京都市直営	—
昭和43年度～平成17年度	運営委託	(財)京都ユースホステル協会
平成18年度(9月末まで)	指定管理制度	(財)京都ユースホステル協会
平成19年10月～平成22年度	指定管理制度	(財)京都ユースホステル協会
平成23年度～平成26年度	指定管理制度	(財)京都ユースホステル協会 ※H23.8 一般財団法人移行
平成27年度～平成30年度	指定管理制度 (利用料金制)	(一財)京都ユースホステル協会
令和元年度～令和4年度	指定管理制度 (利用料金制)	(一財)京都ユースホステル協会

○宿泊客数（過去5年）



	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
日本人	28,217	25,378	23,895	5,472	8,311
外国人	10,489	10,014	9,404	94	66
合計	38,706	35,392	33,299	5,566	8,377

○宇多野ユースホステル ベッド稼働率



年代別宿泊客数・割合

宇多野ユースホステル年代別宿泊客数(日本人)

年齢区分	0-9才		10-19才		20-29才		30-39才		40-59才		60才以上		合計人数
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
R1	619	2.6%	12,396	51.9%	2,812	11.8%	1,300	5.4%	3,679	15.4%	3,089	12.9%	23,895
R2	344	6.3%	1,763	32.2%	447	8.2%	420	7.7%	1,396	25.5%	1,102	20.1%	5,472
R3	358	4.3%	3,814	45.9%	635	7.6%	434	5.2%	1,500	18.1%	1,570	18.9%	8,311

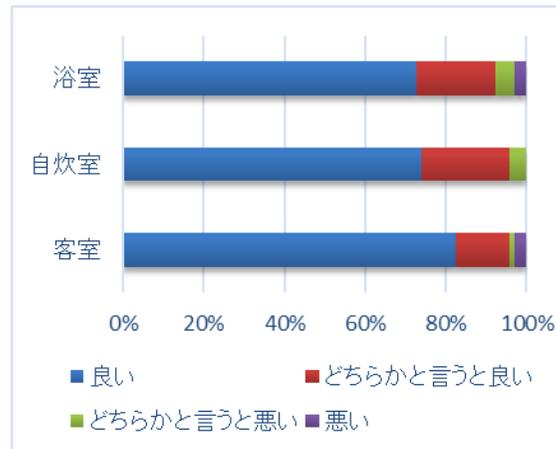
宇多野ユースホステル年代別宿泊客数(外国人)

年齢区分	0-9才		10-19才		20-29才		30-39才		40-59才		60才以上		合計人数
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
R1	105	1.1%	4,647	49.4%	2,196	23.4%	1,422	15.1%	911	9.7%	123	1.3%	9,404
R2	0	0%	2	2.1%	53	56.4%	24	25.5%	11	11.7%	4	4.3%	94
R3	3	4.5%	12	18.2%	16	24.3%	7	10.6%	27	40.9%	1	1.5%	66

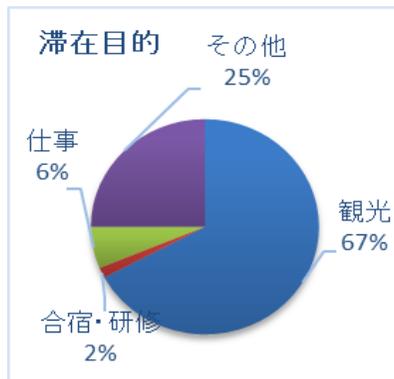
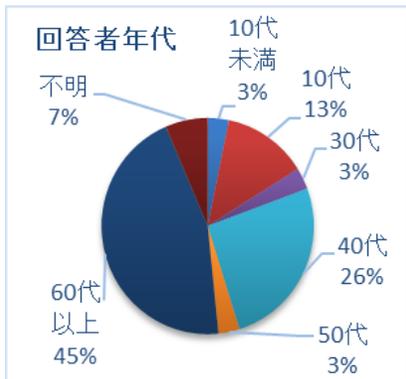
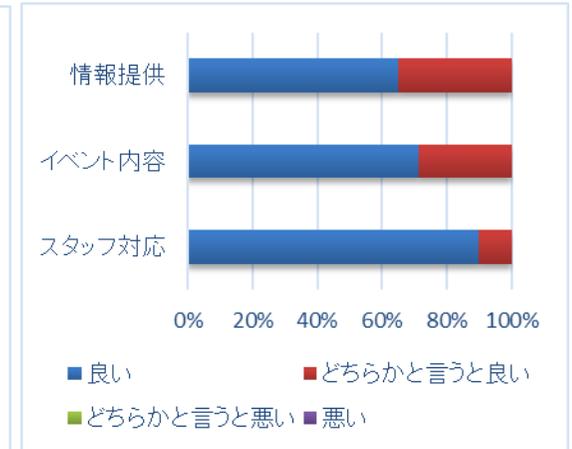
令和3年度宿泊者アンケート結果

N = 70

施設・設備について



接客・サービスについて



京都が目指すまちづくりと観光（京都観光振興計画2025）

京都観光が目指す姿

市民の暮らしの豊かさの向上，地域や社会の課題解決，SDGsの達成に貢献し，感染症や災害などの様々な危機や環境問題に対応していく持続可能な観光



2030年に実現を目指す5つのまちづくりと観光

- ①市民生活と観光の調和が図られ，市民が豊かさを実感できる。
- ②あらゆる主体が京都の「光」を磨き上げ，観光の質を高める。
- ③観光の担い手がより活躍し，観光・文化分野での起業・新事業創出が盛んになり，都市の活力向上や文化の継承に寄与する。
- ④感染症や災害などの様々な危機に対応できる，しなやかで力強く，安心・安全で環境に配慮した持続可能な観光を実現させる。
- ⑤MICE都市としての魅力を確立し，世界の人々が集い，多様性を認め合い，世界平和に貢献するまちになる。

宿泊観光・長期滞在化の促進

京都の奥深い魅力は，時間をかけて観光できる宿泊観光でこそ体感が可能となる。また，宿泊観光は，日帰り観光に比べて，観光消費額が高く，様々な産業への高い経済効果が期待できる，京都観光の中核をなすものである。このため，以下の5つの考え方に基づいて宿泊観光の促進に取り組む。

- ・地域や市民生活と調和を図る。
- ・市民と観光客の安心・安全を確保する。
- ・多様で魅力ある宿泊施設を目指す。
- ・地域の活性化につなげる。
- ・京都経済の発展，京都に伝わる日本の文化・心を継承発展させる。

宇多野ユースホステルに求められる役割

青少年の健全な育成

- ◆青少年育成事業の企画・実施

宿泊観光・長期滞在化の促進

地域や市民生活と調和を図る

- ◆地元、社会貢献
- ◆宿泊客と市民等のふれあい

市民と観光客の安心・安全を確保する

- ◆感染予防等の安心安全な施設利用を確保するための取組の実施

多様で魅力ある宿泊施設を目指す

- ◆宿泊誘客に資する魅力的なイベントの開催
- ◆京都らしさが感じられる食事

地域の活性化につなげる

- ◆地域活動のための施設利用促進
- ◆周辺観光の拠点

京都経済の発展，京都に伝わる日本の文化・心を継承発展させる

- ◆京都の歴史，文化，産業等の紹介
- ◆地元業者からの物品発注
- ◆京都産木材であるみやこ杉木などを活用した施設

宇多野ユースホステルにおける今後の運営の方向性

1 現状

コロナ禍の影響を大きく受け、長期にわたり稼働率が低迷している。

2 課題

①稼働率の向上

宿泊施設全体で稼働率が低迷しているなか、魅力的な宿泊プランを造成するなど、宿泊のインセンティブを高め、積極的な宿泊誘致に取り組む必要がある。

②若年層の取り込み

とりわけ20歳から29歳の宿泊者が少ない。

③京都の歴史、文化の継承及び京都経済の発展への貢献

再び京都を訪れたいと思っていただけるよう、京都の歴史や文化を学んでいただける取組を実施するなど、おもてなしの心でサービスの質を高める必要がある。

3 目指すべき方向（募集要項に趣旨を盛り込み、提案を期待する項目）

①積極的な宿泊誘客、戦略的な経営

宿泊先として宇多野ユースホステルを選んでもらえるような強みを活かした宿泊プランを造成するなど、稼働率の向上を実現するための事業を実施するとともに、宿泊者のニーズを踏まえた戦略的な経営の推進。

②青少年の健全な育成

多様な青少年育成事業を企画・実施し、宇多野ユースホステルでの宿泊体験を通じて青少年の健全な育成を図る。

③若年層（29歳以下）の誘致及び国際交流の推進による世界文化自由都市の実現

若者向けミーティング、イベントの更なる誘致に関する取組により、若年層の割合を高めるとともに、国際交流事業の実施など国際交流の一層の推進。

④京都にふさわしい取組

京都の歴史、文化、産業等を紹介するほか、市民対象事業及び地域と連携した事業等の実施が必要。

4 納付金

毎年固定で1,000万円以上 + 収支や収入等に応じた追加納付額（提案事項）

※ただし、指定管理者の責めに帰すべき事由によらない事象等によって、収支状況が著しく悪化した場合は、免除又は減額について協議する。

京都市の宿泊動向

宿泊客数

2019(R1) 1,317万人



2020(R2) 531万人

新型コロナウイルス感染症の拡大
2018年から1,051万人減
(66.4%減)

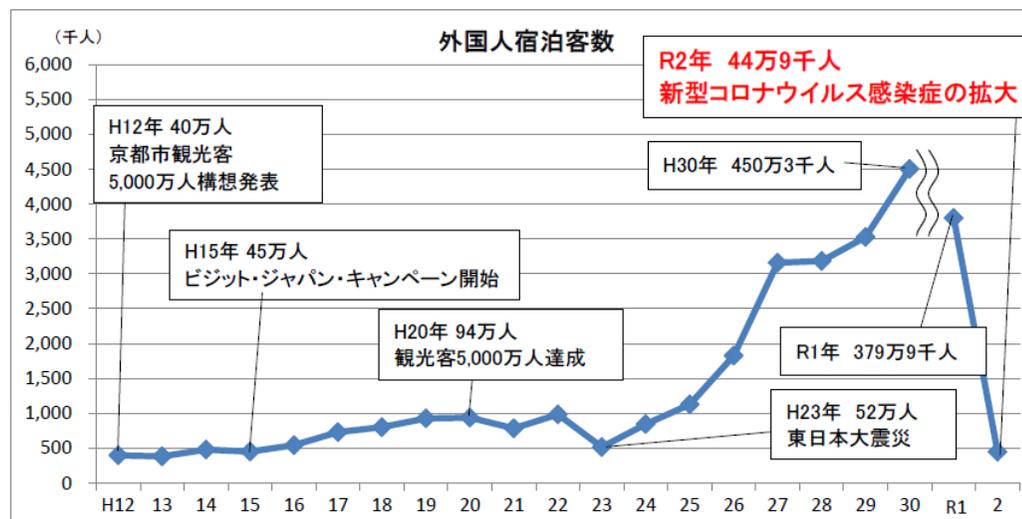
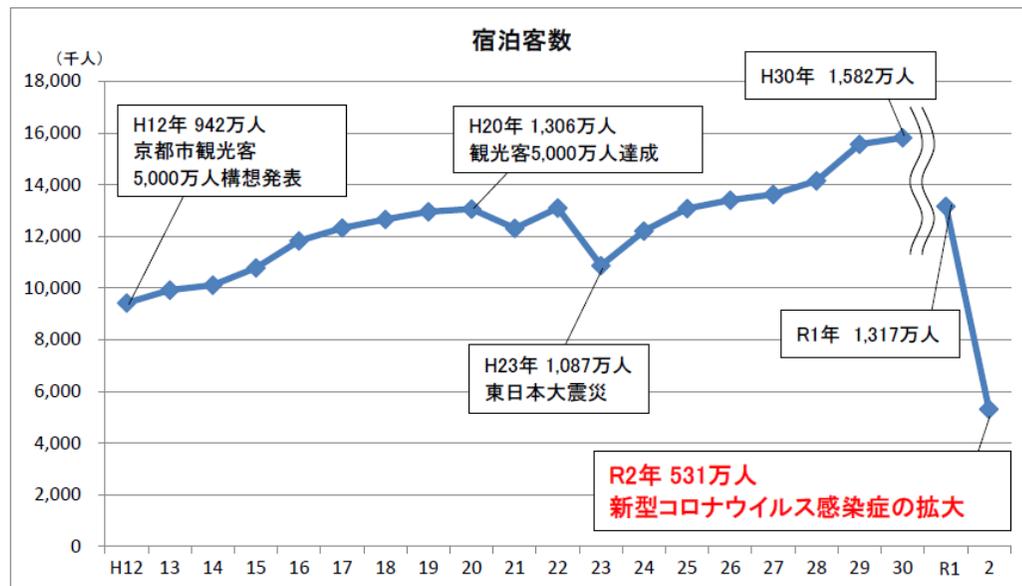
外国人宿泊客数

2019(R1) 380万人



2020(R2) 45万人

令和2年2月以降順次，国の水際対策が強化されたことに伴い減少し，同年4月以降はほぼゼロの状態に



※調査手法の変更により，令和元年以降の数値は平成30年までの数値と時系列による単純比較はできない。